

卷五 涌出八菩薩に説法

安樂行品

轉輪聖王の邸宅

從地涌出品

十菩薩飛來

寿量品

妙藥調合

分別功德品

精舎建立

説経僧礼賛

卷六 一菩薩・五比丘に説法

随喜功德品

僧・俗の高床説法

長者の布施

法師功德品

昇天する二俗

常不軽品

常不軽菩薩の受難

神力品

如来放光中の神殿

囑累品

葉王品

如来前の焼身

四塔前の供養

蓮台上的女性礼拝

卷七 一菩薩と二天九俗に説法

妙音品

如来東方世界を放光中に示す

妙音菩薩の飛來

三菩薩に説法

○

○五菩薩飛來

○

○

三菩薩に説法

○

○

○

○

○

○二塔となる

○蓮台上的男性礼拝

二獅子、王夫妻に説法

○

○

△父子而子老の対談

○五菩薩飛來

○

○

○

○△僧説法一人増加

○△五種法師

○

○△諸人を礼拝する

○

○

○

○

○

妙音菩薩の舍利塔礼拝
普門品

雷電下笠をかゝけて逃る男

山頂落下虚空安在

火坑落下

食中毒(家屋内)

虎蛇の難

山賊の難

柵柵枷鎖解放

陀羅尼品

蔽王品

二王子父母前で神変

勸発品

騎象普賢影向

○舍利塔は多層塔となる

○唐傘をさして逃る

○△観音影向

○野外食中毒

○虎難

○△海竜海難

×△刀尋段々壊

○△海難

△説経僧を羅刹女守護

○

○

○普賢は象の脇に立つ

卷八

○唐傘をさして逃げる

○△楊柳観音図

○

○

○

○

○

美術研究所報

研究会 昭和五十七年

六月九日 莊嚴經二例

七月二十一日 国沢新九郎と岩橋教章のりあき

九月二十二日 伝又兵衛筆豊国祭礼図・粉本について

十月二十日 金刀比羅宮所蔵伝為恭旧蔵模本類調査報告

十二月十五日 三十六歌仙絵巻

清原玉筆工芸画

昭和五十八年

三月二十五日 藤森静雄について

石田泰弘

関千代

真保亨

米倉迪夫

鈴木廣之

三輪英夫

江上綏